

年 組 名前：

築150年超の古民家 宿に

山梨市にオープン1日1組限定

地域の食材で料理も

レストラン経営などを手がける「SPAN(スパン)」（東京）は、山梨市市川に築150年以上の古民家を改修した宿泊施設「HOTEL「菊嶋邸」」をオープンした。約3970平方メートルの広大な敷地内に宿泊棟やサウナなどを整備。柱や壁などには手を加えず、古民家の雰囲気を出せるだけ残した。同社の担当者は「1日1組限定で完全プライベートな空間を楽しんでほしい」と話す。

〈山本昂輝〉



柱などには手を加えず整備した宿泊施設



いずれも山梨市市川

同社によると、宿泊できる母屋は木造2階建てで延べ床面積は約170平方メートル。柱や家具などには手を加えず、古民家の雰囲気を演出している。

(2024年9月7日付 山梨日日新聞7面)

問1

山梨市に築150年以上の古民家を改修したホテルがオープンしました。このホテルのコンセプトを教えてください。

.....

.....

問2

この場所への整備を決めた理由を、2つ教えてください。

.....

.....

問3

宿泊客には、どのような食事が提供されますか。

.....

手を加えておらず、「明治時代にタイムスリップしたようなノスタルジックな体験ができる」（同社担当者）という。建物は国の登録有形文化財の候補になっているという。

浴室とサウナは蔵を改修して整備。水風呂も用意している。食事は甲州ワインビーフや馬刺し、地元野菜、果物など地域の食材を中心に使った料理を提供する。地域の食材にこだわった料理を提供できる宿泊施設にしようと考え、候補地を検討。同所周辺が日本の里100選に選ばれていて、品質が高い野菜などが手に入りやすいことから、山梨市内への整備を決めた。

1日1組限定で、1〜4人が宿泊可能。宿泊料金は2人で13万2千円。同社の担当者は「誰もが懐かしさを感じる里山と古民家をテーマにした事業のノウハウを生かして食事と空間づくりに徹した。古き良き日本文化を感じられ、日本人の方はもちろんインパウンド（訪日客）の方にも喜んでもらえると思う」と話した。